

令和7年度岐阜県体力向上プロジェクト指導者派遣事業実践報告書

派遣講師

岐阜大学教育学部附属小中学校

潮田 航大 教諭

1 研修対象

- 実施校：瑞穂市立西小学校
- 実施日時：令和7年 11月 25日（火）14：00～
- 研修タイプ：出前授業タイプ（受講者数 教員13名 児童26名）
- 研修内容

2 研修内容

- ① 授業参観（第3学年）
 - ② ACPの概要説明
 - ③ 実技講習
 - ④ 質疑応答
- 職員研修

3 研修で扱った運動遊び（ACP）

- ・全身じゃんけん
- ・言うこと一緒 やること一緒
- ・しゅりけん鬼
- ・ねことねずみ
- ・ねずみ逃がし
- ・ラン&スロー

など



4 研修の成果と課題

- 児童は、走・跳・投のACPを通して運動の楽しさや体力の高まりを実感することができた。さまざまな遊びを通して、体力向上につなげることができた。
- 多くの教師がACPを実践できるように、児童向けに扱ったACPのアレンジ方法やどんな体力向上につながるかを伝え、実際に行った。扱わなかった領域に関わるACPを動画で紹介した。
- ACPの意図を説明し、「主運動とのつながり」「伸ばしたい能力とのつながり」のパターンを紹介できた。また、教師がACPを楽しんでできるようにACPの工夫の仕方を説明した。
- 高学年など発達段階に応じた運動遊びを実際に行いながら講習会ができるとうい。

5 研修後の学校の様子

- ・低・中学年の体育の授業において、導入の時間に活用している。
- ・休み時間の学級遊びの中で児童がACPの種目をしている。特に「しゅりけん鬼」が人気である。
- ・今後は、体育の授業以外の時間の「なかよし学級遊び」の中で位置付けるなど、学校としての方針を立てACPを活用したいと考えている。